



# エントランスライト EJ-14型

# 取付説明書

保管用

お客様へ

器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず工事店、電器店に依頼してください。

工事店様へ

施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。



上手に使って上手に節電

## 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



### 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



### 注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図表示で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



## 警告

### ■ 器具の取り付けは説明書に従い確実にを行う



取り付けに不備があると、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります

必ず守る

### ■ 土壌のしっかりしたところに設置する



設置に不備があると、ポール倒れのおそれがあります。

必ず守る

### ■ 交流100ボルトで使用する



過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

必ず守る

### ■ 電源線と口出し線の接続は確実にを行う



スリーブなどで確実に接続し、自己融着テープ、絶縁テープで確実に絶縁・防水処理を施してください。  
(内線規程1335-7~9に準ずる)  
不備があると、火災・感電のおそれがあります。

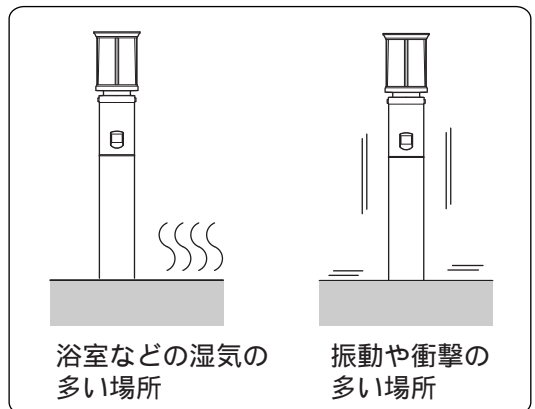
必ず守る

### ■ 次のような場所に取り付けない



禁止

指定場所以外に取り付けると、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。



この器具は防雨型・ポール取付専用です。

### ■ 接地工事は、電気設備の技術基準に従って確実にを行う



アース線  
接続

接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。

# ⚠ 注意

## ■ 温度の高くなるものの近くに取り付けない



ガス機器やその排気筒の近くに取り付け  
ないでください。  
火災の原因となることがあります。

禁止

## ■ 他の調光器と組み合わせて使用しない



調光機能が付いた壁スイッチなどと  
組み合わせて使用すると火災の原因となる  
ことがあります。  
調光器の取り外しが必要です。

禁止

# 施工前にお読みください

## 設置場所についてのご注意

次のような場所には取り付けないでください。

この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に  
取り付けると誤動作の原因となります。

<p>大理石など反射の 強い床面のある場所</p> <p>禁止</p>	<p>風などでよくゆれる 植物の近くなど</p> <p>禁止</p>	<p>エアコンの吹き出し 口、換気扇の近く</p> <p>禁止</p>
<p>交通量の多い道路 に面した場所</p> <p>禁止</p>	<p>前面に障害物のある場所 (透明なガラスも含む)</p> <p>禁止</p>	<p>昼間でも暗い所や 夜間でも明るい場所</p> <p>禁止</p>

一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。

## 配線についてのご注意

必ず壁スイッチを設けてご使用ください。(スイッチは別途ご用意ください)

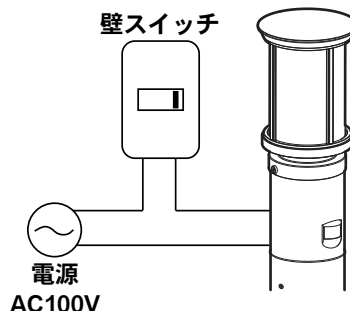
・連続点灯への切り替え操作ができません。

・センサによる点灯モードに異常が発生したとき、リセットできません。

壁スイッチは器具1台につき1個設置してください。複数台を1個のスイッチに  
配線すると、点灯状態にバラツキが発生するおそれがあります。

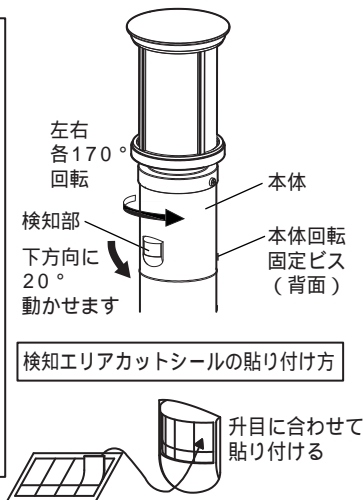
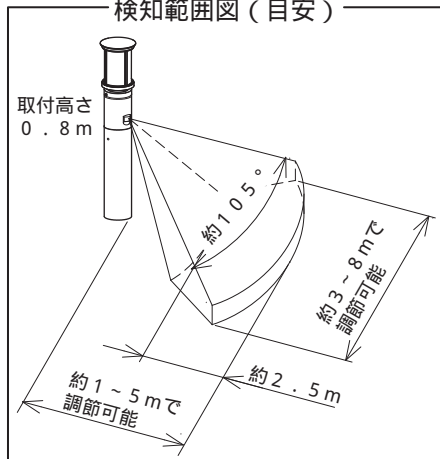
壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態でも  
照明器具が消灯状態(センサ待機状態)のときは、パイロットスイッチ表示が  
点灯しない場合があります。(故障ではありません)

通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。



## センサの検知範囲

検知範囲図(目安)



## ご注意

この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとして  
とらえます。そのため、動物、自動車など人以外の  
動きも検知して照明が点灯する場合があります。  
また、静止状態の人などは検知しない場合があります。  
検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、  
器具の取り付け高さや傾きなどにより変化します。  
夏場など、気温が体温に近い状態になると、温度変化  
が小さいため検知しない場合があります。  
センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた  
場合、器具の近くまで近づかないと検知しないこと  
がありますが、器具の故障ではありません。

この器具は取り付け後、ご使用の環境に合わせてセンサの検知範囲、調整ツマミの設定が必要です。必ず、「検知範囲と調整ツマミを設定する」をお読みのうえ、設定してください。

## 各部のなまえと取り付けかた **注意** 器具取り付けの際は、安全のため電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

### 1 ポールを建てる

ポールの説明書は、別途ポールに添付しております。必ずご参照ください。

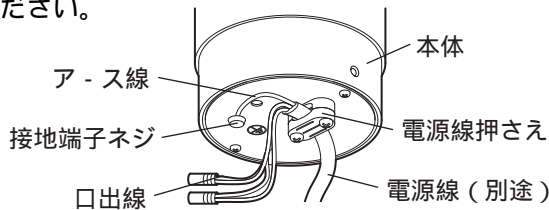
#### **注意**



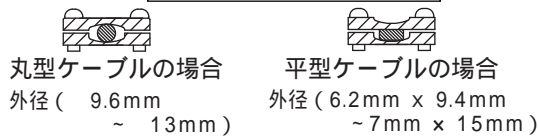
土中埋設配線は「内線規程2400節地中電線路」、「JIS C 3653 電力用ケーブルの地中埋設の施工方法」に従う。不備があると、絶縁劣化により、感電、故障の原因となることがあります。

### 2 口出線に電源線を接続する

- 電源線は、ケーブルのシース部を電源線押さえでしっかり固定してください。ケーブルの押さえ量はケーブル外径の1/4程度としてください。
- 押さえ込みすぎると絶縁破壊の原因となります。接地端子ネジからD種（第3種）接地工事を行ってください。



#### 電源線押さえの使い方



※（梱包時は丸型ケーブル止めの状態になっています。）

### 3 本体取付ネジ（2本）で本体をポールに取り付ける

線のかみ込みにご注意ください。感電や漏電の原因となります。取り付けが不完全な場合、感電・落下によるけがの原因となります。

### 4 枠取付ネジ（2本）をゆるめて枠を取り外し、ソケットにランプを取り付ける

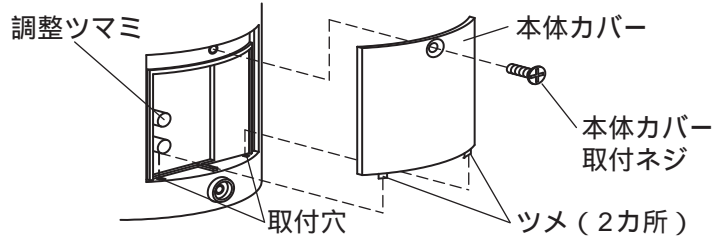
### 5 枠取付ネジ（2本）を締め付けて枠を取り付ける

### 6 本体カバーを取り外して検知範囲と調整ツマミを設定する（次ページ参照）

### 7 本体カバーを取り付ける

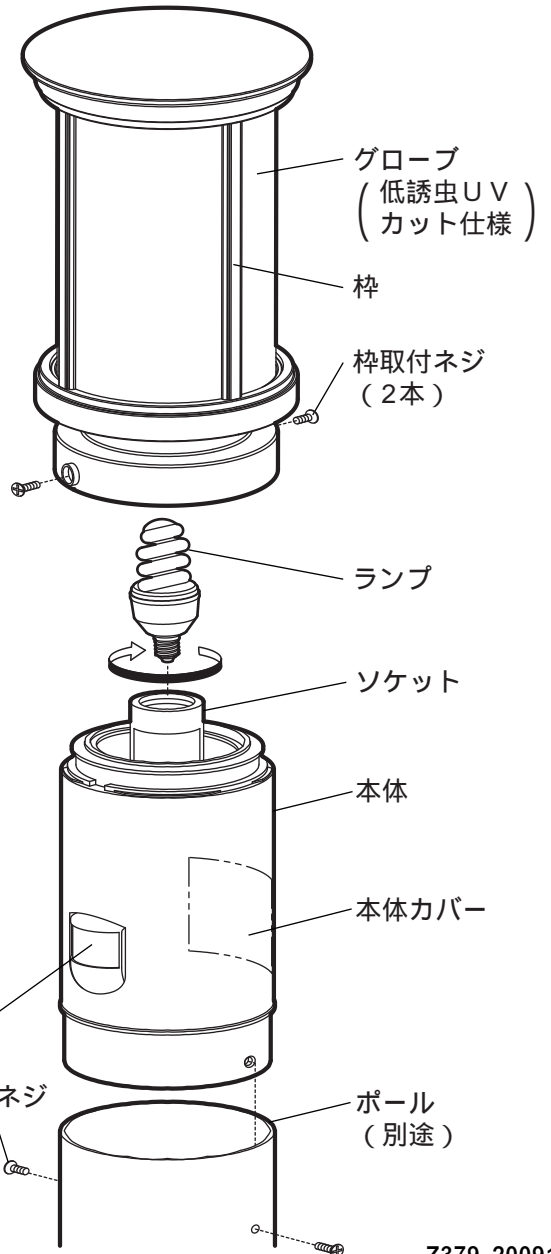
#### 本体カバーの取り付け方

- ・ツメ（2カ所）を本体の取付穴に差し込み本体カバー取付ネジで取り付ける。



#### **注意**

**注意** 本体カバーは必ず取り付けて使用する。浸水による感電や故障の原因となることがあります。

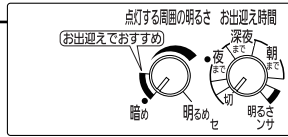


# 検知範囲と調整つまみを設定する

昼間でも設定できます。

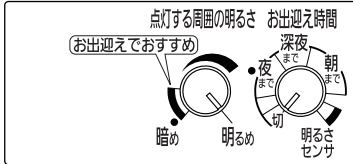
- 設定の前に ①壁スイッチをOFFにする  
②本体カバーを取り外す

## 1 センサの検知範囲を調整し、点灯確認をする 出荷時の設定



### [手順]

①あらかじめ、調整つまみを以下の設定にする



点灯する周囲の明るさ 「明るめ」(右いっぱい回す)  
お出迎え時間 「切」(左いっぱい回す)

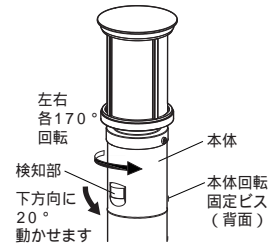
②本体(検知部)を回転させ、設置場所に合わせて検知範囲を調整する

器具背面の本体回転固定ビスをゆるめ、本体(検知部)を回転させ、現場に合った検知範囲を設定してください。

検知部を下方に可動させることにより、検知範囲を段階的に調整することができます。

センサの検知範囲は、 2 ページ「センサの検知範囲」を参照ください。

不要な検知範囲の調整は、同梱の検知エリアカットシールを検知部に貼り付けて行ってください。



③壁スイッチをONにし、センサの検知範囲の外に出る

→ 約40秒間点灯してから消灯します。

消灯しない場合は、以下の原因が考えられます。

お出迎え時間が「切」になっていない

センサの検知範囲に入っている

連続点灯になっている

(検知部が赤く光ったまま)

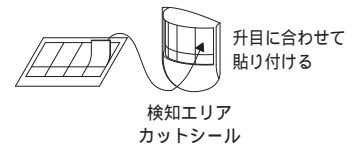
お出迎え時間を「切」にする

センサの検知範囲から外に出る

壁スイッチを一度OFFにし、5秒以上おいて

再び壁スイッチをONにする

### 検知エリアカットシールの貼り付け方



④消灯したら器具に近づいて、点灯することを確認する

センサの検知範囲の外に出たから約5秒後に消灯します。

## 2 いったん壁スイッチをOFFにして 使いかたに合わせて調整つまみを設定する

以下の3種類の使い方ができます。(詳しくは 取扱説明書3ページ)

使いかた	お出迎えモード	ON/OFFモード	明るさセンサモード
動作	暗くなったら点灯 設定時刻になると消灯 設定時刻以降は人が近づいたときに点灯	暗くなって、人が近づいたときに点灯	暗くなったら点灯 明るくなったら消灯
おすすめのつまみ設定			
詳しい設定方法	取扱説明書4ページ	取扱説明書5ページ	取扱説明書6ページ

## 3 本体カバーを取り付ける

3ページ「各部のなまえと取り付けかた」参照

## 4 壁スイッチをONにする

→ スイッチONにした直後は周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

ご注意 お出迎えモードに設定した場合  
壁スイッチをONにした初日は、手順2で設定した「お出迎え時間」つまみの位置に関係なくお出迎え点灯は約4時間で終了します。翌日より設定した時刻通り終了します。

取説コード

Z379